



大人の遠足
Book

東日本 | 11

鎌倉・湘南 三浦半島

日帰りで行ける
テーマ&エリア
45
コース

ウォーキング



● 地図付録
鎌倉
ハイキング
&
散策マップ



みちくさ

食べる リビエラ逗子マリーナ

りびえらずしまりーな

ヤシ並木と海を目の前にしたレストランやカフェには開放的なテラス席が併設され、米西海岸にいるかのような心地よい雰囲気の中で飲食を楽しめる。湘南野菜や相模湾の魚介を使ったオーガニックメニューにこだわった「マリブファーム 逗子マリーナ」、サンドイッチやバーガーをカジュアルに楽しめる「ロンハーマン カフェ 逗子マリーナ店」はおすすめの立ち寄りスポット。

右・右下：マリブファーム 逗子マリーナと地元野菜のヘルシーサラダ
下：ロンハーマンカフェ 逗子マリーナ店内



大崎公園突端の見晴らし台から見る景色も見事。時間がたつのを忘れそう

上りつめると披露山公園。ここから逗子海岸をめざすハイカーも多い



披露山公園山頂には展望台があり、ニホンザルや水鳥などの小動物を飼育している

やかな山道は途中、振り返ると木立の間から海が見え、楽しい道のりだ。上りきったところに**3 披露山公園**の園地が広がっている。逗子市街や江の島、相模湾、富士山などが一望できる景勝の地で、ニホンザルや水鳥などの小動物を見ることが出来る。

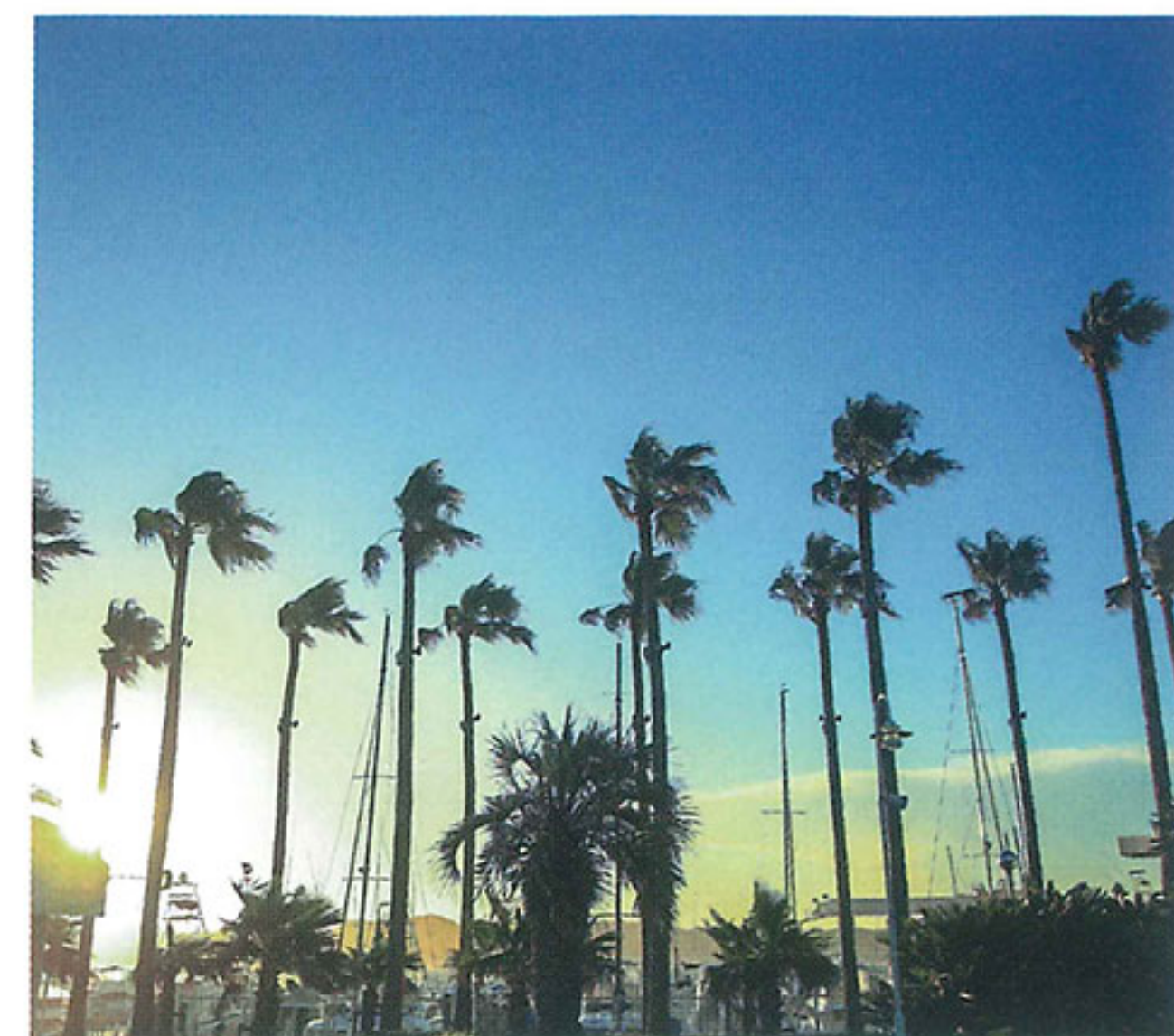
披露山山頂から閑静な家並みが続く披露山庭園住宅地と国道134号のトンネル上の道を通り、相模湾へ突き出した岬に広がる**4 大崎公園**へ向かう。駐車場がない分、静かな公園だが、広々とした芝生広場と岬の先端からの相模湾の眺望は迫力満点だ。

大崎公園からは**5 小坪漁港**をめざして、急な階段と坂道、家の建ち並ぶ狭く、曲がりくねった路地を抜けて下っていく。小ぢんまりした漁港だが、漁港の店には水揚げされたばかりの新鮮な魚介を求めて訪れる客も多い。少し足を延ばして、ヤシ並木が南国を思わせる**6 リビエラ逗子マリーナ**を経由して小坪飯島公園へ向かう。公園正面の磯は鎌倉時代の築港跡、和賀江嶋である。材木座の海を左に見ながら国道134号をくぐり、飯島バス停で鎌倉駅行きバスに乗ろう。

COLUMN

歩きたい「逗子自然の回廊」

遠浅の海、海に迫る緑豊かな山の頂き、市街を流れるのどかな田越川など、逗子の魅力を組み合わせて歩く散策路・ハイキングコースは「逗子自然の回廊ガイドマップ」に8コースが紹介されている。要所に道標や案内板も整備されており、歴史や史跡の由緒を学びながら歩けば楽しみがいっそうふくらむ。



海外リゾートのようなサンセットを味わえるリビエラ逗子マリーナ。沈みゆく太陽を眺めているとウォーキングの疲れも癒される

みちくさ

ホテル京急油壺観潮荘

ほてるけいきゅうあぶらつばかんちようそう

小網代湾を一望する油壺温泉が人気の宿。温泉成分が豊富な療養泉で、湯治や日帰り利用にもおすすめ。併設の活魚レストラン「潮彩」では活魚水槽からあげたばかりの三浦の旬の魚が堪能できる。日帰り入浴11~22時、1200円+入湯税。「潮彩」11~19時(時間の変動あり)、無休。☎

046-881-5211



みちくさ

シーボニア クラブハウスレストラン

シーボニア クラブハウス レストラン

シーボニアマリーナ内のオーシャンビューレストラン。三浦の海や畑からの新鮮な魚介や野菜をふんだんに使った、月替わりのメニューが楽しめる。葉山中を使ったハンバーグ、三浦野菜がゴロっと入ったカレーなど、バラエティに富んだメニューが好評。小網代の森からも近い。

☎046-882-1216



宮ノ前神社から森を出たら、小網代湾に直した白鷺神社に参拝してごう



小網代湾に直した河口干潟が広がる。干潟には50種以上のカニが生息するという。珍しい生きものの暮らし方に興味があるなら



敷地内に設置された案内板を見ながら、森を探索しよう



森には3ヶ所のテラスが設けられているので、観察や休憩に利用しよう

木道を進むと間もなく、森の中の広々とした一角にやなぎテラスが現れる。さらに河口に向かって歩いていくと、エノキの大木のそばに③えのきテラスが見えてくる。テラスの手前には油壺方面への分岐があるが、ここでは直進して小網代湾の④河口干潟へ向かう。小さな穴の中からチゴガニが姿を現し、繰り広げる求愛ダンスは癒される光景だ。この森では干潟を中心に、アカテガニをはじめ、50種類ものカニが生息しているという。帰路はえのきテラスまで戻り、その先の分岐を右折する。小網代湾を一望する眺望テラスを経て階段を上り、⑤宮ノ前神社入口へ。小網代湾方向へ歩くと、三浦七福神の寿老人を祀る⑥白鷺神社がある。ゆっくり参拝した後には、ヨットハーバーの爽やかな景観を楽しみながら、県道216号に出て右折し、油壺方面へ。油壺バス停の先で、⑦荒井浜方面へ向かって左折しよう。三浦でもひととき透明度が高いといわれる海を前に、浜辺にはゆったりと静かな時間が流れている。のんびり海の景観を堪能したら、来た道を戻り、京急油壺マリンパークバス停から三浦口駅へ戻ろう。

COLUMN 小網代の森のシンボル、アカテガニ

小網代の森の人気者、赤いハサミが目立つアカテガニ(ベンケイガニ科)は体長4cmほど。ふだんは海の中ではなく、森の中の小高い崖の穴(写真)で暮らし、夏の大潮の晩に一斉に海へ移動して、子どもを産むという。



静かな佇まいを見せる小網代湾を見ながらシーボニアマリーナ方面へ進もう。油壺へ足を延ばしてから帰るのも楽しみ